



市長対談  
男性の育休取得を通じた子育て支援

# 育休のススメ



**共**働き家庭が増加する中、家事や育児への男女の協力や、男性の育休取得が進んでいます。今回は、育休を取得した経験のある男性や、夫と共に育休を取得した女性、社員の子育てを支援する立場の担当者をお迎えして、子育て家庭を取り巻く状況や、支援の取り組みについてお話を伺います。

**市長** 今回は、男性の育休がテーマです。私は独身時代、女性の先輩が会議中に席を外して保育園のお迎えのことで急ぎの電話をしていたのによく見ました。非常に疲れ切っている様子だったことが強く印象に残っています。またその時、子育てを女性の役割として押し付けていることが少子化の原因だと思い、市長に就任して以来、子育て支援に取り組んでいます。今は男性の育休取得が珍しいくない世の中になって、今日ご出席の田中さんと柳岡さんも、育休の経験をお持ちですね。お二人はどのような経緯で取得されたんですか。

**田中** 私は、人事の担当から勧められたのがきっかけです。私たちの世代では男性も育休を取って当たり前という考えもあるので、他の職員も取りやすくなるようにと思い、率先して取得することにしました。

**柳岡** 私は、以前から子どもが出来たら取得したいと考えていました。**市長** 昔は子どもの行事で休むのは困難でしたが、今はそのような雰囲気もなくなってきましたね。私も昔、おむつ交換をよくやりましたが、子



富岡 賢治市長

子育て支援のため、男性の育休取得率の向上に全力を挙げる



前原 彩弥子さん

高崎財団職員。第1子の誕生時に、夫も育休を取得した



北森 雪峰さん

高崎市職員。第1子の誕生時に、夫も育休を取得した

育てには新たな発見があり、良い人生経験になりますね。前原さんと北森さんのお宅は、ご主人が育休を取られたということですが、育休を取ってもらったいかがでしたか。

**前原** うちでは、おむつ替えは夫の方がたくさんやってくれたり、その他の家事も私以上に頑張ってくれたので本当に助かりました。

**北森** 私は産後の辛さもあって動けない時期があったのですが、買い物や調理をやってくれたので本当に助かりました。私よりも上手なんじゃないかと思うほど家事を頑張ってくれたので、夫が育休を取ってくれて良かったと思っています。

**市長** 今は料理や家事が上手な男性も多くて、男性が家庭にいて女性への負担が増えてしまう、ということはないんですね。昔と随分違いますね。

## 育休の取得に不可欠な職場の理解

**市長** 男性が育休取得を職場に申し出るのは勇気があることだったかもしれません。皆さんはどうだったん

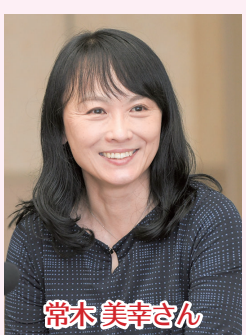
増加につながってほしいという思いで取り組んでいます。

**市長** そうですか。高崎市役所でも、男性の育休取得を100%にしようという目標を決めました。徐々に取得者は増えてきていますが、「昇進や昇給に影響があるんじゃないか」と心配する職員もいるようです。そのようなことは全く心配しないです。いいですね。

## 社会全体で子育て家庭を支えるために

**市長** 一方で、育休の期間が長くなると、家庭の収入が減ってしまうという現実的な心配があります。前原さんのご家庭はいかがでしたか。

**前原** はい。育休が長くなると、収入の見通しが立ちにくいくというの、夫婦でも話題になりました。



常木 美幸さん

太陽誘電株人事部次長。育休取得や女性活躍に向け、社員をサポート



柳岡 太一さん

太陽誘電株に勤務。第1子の誕生時に育休を取得した

**市長** 一番の問題は収入が減ることです。国は「育休を取りなさい」と言いますが、期間が長くなると収入が減ってしまいます。雇用保険ではなく、給与を全額補償するような制度を国がしっかりと作らなければ育休の取得は進まないのではないかと思います。

今は夫婦で育児する家庭も増えていますが、共働きでは子育てに疲れてしまうこともあると思います。高崎市では子育てSOSサービスという制度を作って、掃除や調理などのヘルパーを子育て家庭に派遣しています。ほかにも、理由を問わずに子どもを預かる託児ルームも整備して、子育てする皆さんが疲れてしまわないよう、気軽に利用できる仕組みを用意しているんですよ。

**常木** そういった情報も、職場の育休取得支援の中で伝えていきたいですね。

**市長** 昔のように、お隣近所やおじいちゃんおばあちゃんに頼れる時代ではありませんから、社会全体で子育てを考えなければいけませんね。皆さん今日はどうもありがとうございました。

一同 ありがとうございます。

市長対談の様子を動画でご覧いただけます



**田中** 私は第2子、第3子の時に育休を取得しました。育休中は、妻と共に家事や調理に携わり、出産後の妻が日々大変な思いをしていることを実感しました。妻も、金庫からのサポートに安心感を抱いてくれるようでした。私もそのような雰囲気を作ってくれた金庫には大変感謝しています。

**柳岡** 私も、周囲のサポートをいただいたおかげでうまく業務を引き



吉田 崇さん

高崎信用金庫人事部部長。安心して働けるよう、職員をきめ細かに支援



田中 誠規さん

高崎信用金庫に勤務。第2子と第3子の誕生時に育休を取得した

継ぐことができました。円滑に育休の期間に入ることができ、妻も安心してくれました。最初は苦労もありましたが、小さいうちに子どもと接する時間を持つことができ、非常に良い経験になりました。

**市長** 業務を円滑に引き継ぐためにも、会社組織としてしっかりとサポートが必要ですね。社員の皆さんの反応はいかがですか。

**吉田** 職員が互いに支え合いながら業務に取り組む気持ちが高まっているように感じます。限られた中でも効率的に仕事をしようという意識が高まり、生産性の向上にもつながっていますね。職員の仕事と育児の両立を支援することで、最終的には少子化に歯止めをかけることにもつながるものと考えています。

**市長** 太陽誘電さんはいかがですか。

**常木** 社内で育休取得のための啓発を行い、対象者には上司が個別に面談し、人事が育休制度の説明を行うという地道なところから始めています。育休取得に対する心理的なハードルが低くなってきているようで、男性の育休取得率の向上につながっています。会社としては、組織的な運営のことも考えなければいけませんので、本人の希望と向き合って相談しながら対応しています。男女が共に子育てを行うことが当たり前になることで、次世代を担う子どもの